



平成 26 年 10 月 29 日

各 位

会社名 太平洋工業株式会社
代表者 代表取締役社長 小川信也
(コード番号 7250 東証・名証第一部)
問合せ先 企画・経理部長 村上明彦
(TEL 0584-93-0117)

中期経営計画「OCEAN-18」に関するお知らせ

当社は、2018 年度を最終年度とする中期経営計画「OCEAN-18」を策定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 中期経営計画策定の背景

当社は、創業 80 周年の節目を機に、2030 年に迎える創業 100 周年に向けての一里塚として、これからの 10 年先を見据えた長期ビジョン「PACIFIC GLOCAL VISION 2020」を策定しました。長期ビジョンは、「CSR」を経営の最重要課題と位置付け、「5 つのシンカ」で事業構造を革新し、「融合経営」による企業価値の向上をめざしています。

長期ビジョンの実現に向けた具体的なアクションプランとして推進してきた中期経営計画「OCEAN-15」では、連結売上高 950 億円、連結経常利益率 6% 台、海外売上高比率 40% 以上を掲げておりますが、計画達成の目途が立ったことから、ローリングプランとして「OCEAN-18」を立案しました。

2. 中期経営計画の概要

「トップクラスのグローバルな部品メーカー」をめざすため、「技術と海外」「ものづくりは人づくり」「CSR と環境保全」をキーワードに、「OCEAN-15」では「守りから攻め」へ転じ、積極的な拠点展開と投資を行ってきました。そのローリングプランである「OCEAN-18」では、これまでの投資の成果を刈り取りつつ、将来の飛躍に向けた成長基盤を構築してまいります。

3. 2013 年度実績と 2018 年度目標

	2013 年度実績	2018 年度目標
連結売上高	919 億円	1,100 億円
連結経常利益率	7.7%	8% 台
海外売上高比率	42%	50% 以上
総資産回転率	0.86 回転	1.05 回転以上

この資料における当社グループの今後の計画、見通し、戦略等の将来予想に関する情報は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいています。

このため、実際の業績等の結果は見通しと大きく異なることや、予告なしに変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

中期経営計画「OCEAN-18」

当社は、創業 80 周年を機に、2030 年に迎える創業 100 周年に向けての一里塚として、これからの 10 年を見据えた長期ビジョン「PACIFIC GLOBAL VISION 2020」を策定しました。長期ビジョンは、「CSR」を経営の最重要課題と位置付け、「5 つのシンカ」で事業構造を革新し、「融合経営」による企業価値の向上をめざしています。

「トップクラスのグローバルな部品メーカー」をめざすため、「技術と海外」「ものづくりは人づくり」「CSR と環境保全」をキーワードに、「OCEAN-15」では「守りから攻め」へ転じ、積極的な拠点展開と投資を行ってきました。そのローリングプランとして、新たに「OCEAN-18」を策定しました。「OCEAN-18」では、これまでの投資の成果を刈り取りつつ、将来の飛躍に向けた成長基盤を構築してまいります。

トップクラスのグローバルな部品メーカーをめざす

